

「地域における公益的な取組」

1 施設名

沼木敬寿園

2 取組の名称

ボランティア、福祉人材の育成（実習生の受け入れ、介護体験等、など）

3 取組内容について

① 実施に至る経緯

介護体験等の実習生受け入れについて

義務教育教員志願者の実習生受け入れについては、山形県社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画2020」実施項目7（地域ぐるみで福祉共育を目指す）の年次計画に示されており、社会福祉協議会からの依頼で教員を目指す学生（実習生）の受け入れを数年前より行っている。また、3年度は特別支援学校からの実習生や「福祉の仕事職場体験事業」での受け入れ施設募集に対し申し込みを行い、一般の方の実習生受け入れを行った。

② 具体的な内容

実習生の方々へは、当施設のカリキュラムに沿って平日2～5日間介護体験等をしていただいている。実習内容は各実習生のレベルに合わせており、学生の方々には主にオリエンテーション、施設見学、福祉車両や福祉用具の説明、体験、4事業所（特養、ショートステイ、小規模多機能、グループホーム）での現場実習（身体介護以外）で話し相手、リネン交換等の体験、最終日には体験後の振り返りを一緒に行っている。

③ 参加対象者及び参加費用

参加対象者は小学校または中学校の普通免許状の取得を希望している学生、今回は特別支援学校の高校二年生と福祉以外就労中の一般の方であった。

参加費用については実習終了後、介護体験等費用（特別支援学校以外）を社会福祉協議会を通して口座へ振り込み頂いている。

④ 予算や人員体制など

実習生受け入れのための職員人員体制については、その日のカリキュラムの内容に沿って担当職員を決めている。その日によって2～5名の職員で対応し、実習生が安心して少しでも不安なく実習できるよう担当職員が事前準備するよう心掛けている。

⑤ 取組による変化や効果

学生、また一般の方であっても実習生受け入れについては、施設の年間計画の中に組み入れており、受け入れ体制を整えて職員の意識付けもしっかりできている。カリキュラムについても、学生に限らず幅広い年齢層や経験を限定せず、施設側とともに実りのある介護体験等が実施できるよう内容を工夫し充実できている。

⑥ 今後の展望

現在においても新型コロナウイルス感染症の影響により、実習生受け入れやその他のボランティア等外部からの受け入れを中止しているが、今後について社会の情勢をその都度確認しながら受け入れ等を検討し、今ならできることを柔軟に内容を工夫しながら考えていきたい。受け入れ可能になった際は万全な感染症対策を整えて、今までお世話になったボランティア方々や新規のボランティアへの声掛け、実習生受け入れを継続し、地域貢献に繋げていきたい。